

詠草一覽

- 1 * 花びらとはちみつレモン飾りつけ夕日に透けたオレンジゼリー
- 2 * 焼きたてのホットケーキに蜂蜜をゆっくりかけてゆっくり食べる
- 3 * 今度来る波でも砂に書いた字が消えないときは結婚しましょう
- 4 * 何者にもなれずならず朽ちるならせめて今年の傷になりたい
- 5 * 去年より少し傷ついた佐藤錦 山形に百貨店デパートがない
- 6 * わずかでも隙間があれば入り込む猫たちみんなたぶん液体
- 7 * 指パッチンはまだ聞こえない 夢のなかボクはハレムのボスザルである
- 8 * ありさんはいつももぞもぞ動いてるご飯をよいしょご飯をよいしょ

9 * きみの銀河ぼくの銀河は人知れず寂しい夜に重なりひとつ

10 * 魚図鑑サメの目つきの鋭さは紙の向こうの海を眺める

11 * 耳に舌 暗くなりゆく船内を内熱機関の振動だけが

12 * つぎの世は小松菜奈にうまれたい小松菜一把ナベにゆがいて

13 * ばかでかいあくびをひとつ野へ放ち後は霜野を踏む白い息

14 * 犬眠る上に猫またおしかけてもーあつついよ！犬床へ移動

15 * 霜月の夜は妻に見守られカミオカンデで見つける新星

16 * 「何者か」になれの圧力感じつつ「何者」でもない自分にいる

17 * たったいま僕の視界の領域をコバエいっぴき通過しました

18 * 春の陽が、赤児をつつみ、あやしてる。山の奥へと、冬、消えてゆく。

19* 目と耳と口をふさぎてこれの世の煩悩を断つ日光の猿

20* 首都高の上を跨いだ太鼓橋紅白提灯酔客誘う

21* 古稀の色七十ななその年を老いゆくも若きに合わせ七色の着衣

22* ころろよく待機している餅たちを腹におさめていくトースター

23* 勤務とはながい夢かもしれない電車のなかにひとびとはいる

24* 歌い継がれていくうち歌は誰のものでもなくなつて国のはじまり

25* 唇が読めてしまったばかりに雪のスタバで書くラブレター

26* 短歌にしかできないことがきつとある俺を助けてくれたじゃないか

27* お互いの耳にピアスの穴をあけ私たちまだキスもしてない

28* とてもよい示準化石になるだろう地表にあまねく暮らす人類

29* じつは猫死んだんですよテレビでは伝染病の話をしてる

30* また折れてまったくついて肋骨は陽気でさばさばしたカルマだ

31* 突き抜けてないからこんな青いのだ満ち潮みたい溢れてくるね

32* まことただには帰れずにパーをだすチ、ヨ、コ、レ、イ、ト、夕日に抱かれ

33* 忘れさせるものか空に大き弧を搔く爪 冬の噴水の無言

34* 右足にタトゥーを入れるひとのため密という字をナプキンに書く

35* きりんからきりんのいでる四分を静かにみまもる昼の食卓

36* 月満ちて また朔度る 幾千の 時の記憶を 呼び覚ます梅

37* 這うように闇夜を歩き日の下で君に出会った 笑ってくれた

38* カスミとは茨城にあるスーパーで大体パンの種類が豊か

39* ぶら下がる枸橘からたちの果みが昨日より黄に色づいて朝の窓辺に

40* 美しい女の髪に蠅止まりみんな見ていて誰も言わない

41* ネットから月の地主になれるのがネットで知った最高のこと

42* 鱗取りを水屋の奥にしよばせて凍雨に焼いてゆくマドレーヌ

43* あたしじゃない女の産んだあんたの子 蓮は咲くときぽんと鳴らない

44* やぶっても、ちぎってもままならぬ恋、夜の作法を占いに聞く

45* 太田家の洗濯槽のごとく詰め込まれてBIGパフエここに立つ

46* 香水のかわりにかけた五香粉私のかわりがいませんように

47* 5畳半一人暮らしのこの部屋にIKEAはサメを送ってくれた

48* さようなら わたしを囚とらえ放さない思春期めいた少女の檻よ

49* みそしるのなすの回転ふきさます昼はまだらな眠気のまま

50* 走り来てマスクをとった恋人が等圧線をえがく雪原

51* 口元に寄る皺だとか鼻息に嫌というほど触って笑う

52* 感情を名付けなければ透明な楽器になれる。ふるえています

53* 好きですと言葉にすれば透き通る鈴を鳴らしてあなたが通る

54* 夜が明ける冬の窓開け深呼吸生まれくる子に星の息吹を

55* おそらくは乙女であろうマーメイド雲なめらかに美空を泳ぐ

56* 湖をへうみと詠むとき翳る水。それきり、あとは愚かのつもり

57* 匂う霧 犬ころななめ ぼくんちにカラー忍者が染み込んできた

58* 真夜中の道路工事の横に歩道 おじさん、こんばんわ、僕ですよ

59* 眠るには体力が要るどんぐりの殻斗かくとみたいにベレーを敷いて

60* 古本の広告に見るコンコルド鶴は夢見るアトムな未来

61* まなうらの外との面もの雪の明るみにゆひらゆひらと言ひつ抱きあふ

62* 白鳥がいたと指さすきみの声霧のかなたの白きもやもや

63* 銀河団のチェシヤ猫追つて駆けめぐる戸山ハイツのロングスカート

64* 処置室の骨格標本姉と呼びすくすく育つ萬鍼灸院の娘

詠草は以上です。ご出詠ありがとうございました。